

令和4年度

設楽町第二種特定鳥獣管理計画
(カモシカ管理) 実施計画

令和4年8月

設 楽 町

目 次

	ページ
1 カモシカによる林業被害と防除	1
(1) 林業被害の経緯	1
(2) 林業被害状況	1
(3) 被害対策の実績	2
2 生息状況等	3
(1) 分布状況	3
(2) カモシカの生息数	3
①旧設楽町	3
②旧津具村	4
3 被害対策の方針	4
4 被害防除実施計画	5
5 地域別個体数調整計画	6
6 個体数調整実施計画	7
(1) 捕獲実施体制	7
(2) モニタリング等	7・8
7 カモシカの保護管理及び被害対策のための森林の取扱い	8
8 生活圏に出没するカモシカ	8

(添付図面 年度別計画位置図)

1 カモシカによる林業被害と防除

(1) 林業被害の経緯

設楽町におけるカモシカのスギ・ヒノキ幼齢木への森林被害は、昭和50年頃から東納庫地区周辺の造林地に発生し始めたが、当初は補植する程に至らぬ被害であった。

しかし、その後は拡大造林事業によりカモシカの生息地域が拡大し、それに伴い森林被害区域は年々増加傾向にあった。

近年は新植面積の減少に伴い被害面積も概ね減少しているものの、現在でも町内全域にわたって民家付近等への出没・目撃情報が寄せられており、出没・目撃情報などから推測して、カモシカ生息数は増加傾向にあると思われる。

森林被害の防除対策として忌避剤及び防護柵等による防除を行っているが、年に2度の忌避剤塗布や、防護柵等による防除を行っても被害を受けている地域も見受けられる。

(2) 林業被害の状況

林業実損被害面積（金額）

区分※		年度	平成						令和		
		24	25	26	27	28	29	30	1	2	3
設楽町	国有林(ha)	0	0	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	1.82	3.00
	民有林(ha)	7.11	1.33	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	7.11	1.33	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	1.82	3.00
旧設楽町	国有林(ha)	0	0	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	1.82	3.00
	民有林(ha)	4.75	0.93	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	4.75	0.93	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	1.82	3.00
旧津具村	国有林(ha)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	民有林(ha)	2.36	0.40	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2.36	0.40	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 被害対策の実績

区分※		年度	平成						令和			
			24	25	26	27	28	29	30	1	2	3
設 楽 町	忌 避 剤	国有林(ha)	18.11	40.48	33.00	38.00	40.00	29.00	18.00	0	18.54	13.22
		民有林(ha)	0.46	0.46	0.46	0	0.75	0	0	0	0	0
		計	18.57	40.94	33.46	38.00	40.75	29.00	18.00	0.00	18.54	13.22
	防 護 柵	国有林(ha)	19.98	43.31	35.00	35.00	6.00	10.50	31.71	89.01	23.21	31.96
		民有林(ha)	0.66	0.24	0	0	0	0	0	0	0	1.50
		計	20.64	43.55	35.00	35.00	6.00	10.50	31.71	89.01	23.21	33.46
	防 護 ネ ット	国有林(m)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		民有林(m)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	チ ュ ー キ サ ブ	国有林(本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		民有林(本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	補 植	国有林(ha)	0	0	30.00	0	0	0	0	0	0	0
		民有林(ha)	0	0	0.46	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	30.46	0	0	0	0	0	0	0
個体数調整数(頭)		12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	
旧 設 楽 町	忌 避 剤	国有林(ha)	18.11	40.48	33.00	38.00	40.00	29.00	18.00	0	18.54	13.22
		民有林(ha)	0.46	0.46	0.46	0	0.00	0	0	0	0	0
		計	18.57	40.94	33.46	38.00	40.00	29.00	18.00	0.00	18.54	13.22
	防 護 柵	国有林(ha)	19.98	43.31	35.00	5.00	6.00	10.50	31.71	89.01	21.31	31.96
		民有林(ha)	0.06	0.24	0	0.10	0.00	0	0	0	1.9	0.99
		計	20.04	43.55	35.00	5.10	6.00	10.50	31.71	89.01	23.21	32.95
	防 護 ネ ット	国有林(m)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		民有林(m)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	チ ュ ー キ サ ブ	国有林(本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		民有林(本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	補 植	国有林(ha)	0	0	30.00	0	0	0	0	0	0	0
		民有林(ha)	0	0	0.46	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	30.46	0	0	0	0	0	0	0
個体数調整数(頭)		9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
旧 津 具 村	忌 避 剤	国有林(ha)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		民有林(ha)	0	0	0	0	0.75	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0.75	0	0	0	0	0
	防 護 柵	国有林(ha)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		民有林(ha)	0.80	0	0	1.23	0	0	0	0	0	0.51
		計	0.80	0	0	1.23	0	0	0	0	0	0.51
	防 護 ネ ット	国有林(m)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		民有林(m)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	チ ュ ー キ サ ブ	国有林(本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		民有林(本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	補 植	国有林(ha)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		民有林(ha)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個体数調整数(頭)		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	

2 生息状況等

(1) 分布状況

町内でカモシカが目撃され始めたのは昭和10年頃で、昭和30年に国の特別天然記念物に指定されてから急激に個体数が増加し、昭和40年頃には町内全域に出没するようになった。

近年では、民家や道路などにおいても出沒・目撃されるようになってきている。

(2) カモシカの生息数

① 旧設楽町

ア 生息密度調査結果

※平均生息密度は糞塊数による補正後の数値

調査年月日	調査地区	調査地区面積(ha)	森林の状況(%)		目撃頭数	平均生息密度 頭/100ha	北設楽郡全域 頭/100ha
			人工林	天然林			
H4.10.27	滝沢	97.3	88	12	1	1.74	1.86
H4.10.27	御堂山	95.1	90	10	1		
H6.10.3	滝沢	97.3	88	12	0	1.8	1.88
H6.10.3	御堂山	95.1	90	10	1		
H9.10.27	滝沢	97.3	88	12	0	1.78	1.99
H9.10.27	御堂山	95.1	90	10	2		
H12.2.19	滝沢	97.3	88	12	2	2.61	2.11
H12.2.19	御堂山	95.1	90	10	3		
H13.10.20	滝沢	97.3	88	12	1	1.04	1.66
H13.10.20	御堂山	95.1	90	10	1		
H17.11.7	滝沢	97.3	78	22	0	1.42	1.62
H17.11.7	御堂山	95.1	78	22	0		
H22.11.11	滝沢	97.3	78	22	2	1.30	1.21
H22.11.11	御堂山	95.1	78	22	2		
H27.11.29	滝沢	97.3	78	22	2	1.04	1.61
H27.11.29	御堂山	95.1	78	22	0		
R2.11.28	滝沢	97.3	78	22	2	1.52	1.69
R2.11.28	御堂山	95.1	78	22	1		

イ 推定生息数

森林区分	生息分布森林面積	平均生息密度	生息頭数
国有林	5,422 ha	1.52 頭/100ha	82 頭
民有林	14,790 ha	1.52 頭/100ha	225 頭
計	20,212 ha	1.52 頭/100ha	307 頭

② 旧津具村

ア 生息密度調査結果

※平均生息密度は糞塊数による補正後の数値

調査年月日	調査地区	調査地区 面積 (ha)	森林の状況 (%)		目撃 頭数	平均生息密度 頭/100ha	北設楽郡全域 頭/100ha
			人工林	天然林			
H6. 10. 27	大 入	89. 5	88	12	4	3. 08	1. 88
H6. 10. 27	梨ヶ嶽	105. 5	90	10	2		
H9. 10. 29	大 入	89. 5	88	12	1	1. 03	1. 99
H9. 10. 29	梨ヶ嶽	105. 5	90	10	1		
H12. 3. 5	大 入	89. 5	88	12	1	2. 05	2. 11
H12. 3. 5	梨ヶ嶽	105. 5	90	10	3		
H13. 9. 29	大 入	89. 5	88	12	2	2. 05	1. 66
H13. 9. 29	梨ヶ嶽	105. 5	90	10	2		
H17. 11. 7	大 入	89. 5	91	9	1	1. 03	1. 62
H17. 11. 7	梨ヶ嶽	105. 5	91	9	1		
H22. 11. 8	大 入	89. 5	91	9	0	0. 00	1. 21
H22. 11. 8	梨ヶ嶽	105. 5	91	9	0		
H27. 11. 29	大 入	89. 5	91	9	2	1. 54	1. 61
H27. 11. 29	梨ヶ嶽	105. 5	91	9	1		
R2. 11. 28	大 入	89. 5	91	9	2	2. 01	1. 73
R2. 11. 28	梨ヶ嶽	105. 5	91	9	2		

イ 推定生息数

森林区分	生息分布森林面積	平均生息密度	生息頭数
国有林	220 ha	2. 01 頭/100ha	4 頭
民有林	4, 436 ha	2. 01 頭/100ha	89 頭
計	4, 656 ha	2. 01 頭/100ha	※ 93 頭

3 被害対策の方針

現在、町で主に実施しているカモシカ食害防除方法は忌避剤処理及び防護柵等並びに個体数調整である。

今後の防除方法としては、忌避剤処理や防護柵等の継続・実施面積の拡大を重点的に行っていきたいが、実施にあたっては従事者の確保や、事業実施地が急傾斜であるため、資材の運搬が困難である等の問題もあるが、令和4年度は防護柵及び忌避剤処理等による対策を実施し、個体数の調整とあわせて森林被害の防除に努める。

4 被害防除実施計画

区分		年度	令和2（実績）			令和3（実績）			令和4（計画）			
			民有林	国有林	全体	民有林	国有林	全体	民有林	国有林	全体	
設 楽 町	幼 齡 林	新植地(ha)	0	26.43	26.43	1.50	29.66	31.16	4.22	28.34	32.56	
		2～5年生(ha)	21.56	68.60	90.16	21.54	81.94	103.48	20.22	96.92	117.14	
		6～10年生(ha)	96.08	89.51	185.59	95.79	100.70	196.49	96.51	104.00	200.51	
		計	117.64	184.54	302.18	118.83	212.30	331.13	120.95	229.26	350.21	
	被害 対策	忌避剤処理(ha)	0	18.54	18.54	0	13.22	13.22	0	66.88	66.88	
		事業費(千円)	0	6,393	6,393	0	2,160	2,160	0	10,482	10,482	
		防護柵(ha)	0	23.21	23.21	0.99	31.96	32.95	4.22	33.76	37.98	
		事業費(千円)	0	28,268	28,268	1,504	27,642	29,146	6,375	52,904	59,279	
		防護ネット(セト)	0	0	0	0	1,950	1,950	0	0	0	
		事業費(千円)	0	0	0	0	3,725	3,725	0	0	0	
		ハキチューブ(本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		事業費(千円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		個体数調整(頭)		12			12			12		
		事業費(千円)		540			540			540		
調査費(千円)		144			144			144				
旧 設 楽 町	幼 齡 林	新植地(ha)	0	26.43	26.43	0.99	29.66	30.65	4.22	28.34	32.56	
		2～5年生(ha)	8.21	68.60	76.81	8.19	81.94	90.13	8.19	96.92	105.11	
		6～10年生(ha)	77.62	89.51	167.13	77.48	100.70	178.18	77.15	104.00	181.15	
		計	85.83	184.54	270.37	86.66	212.30	298.96	89.56	229.26	318.82	
	被害 対策	忌避剤処理(ha)	0	18.54	18.54	0	13.22	13.22	0	66.88	66.88	
		事業費(千円)	0	6,393	6,393	0	2,160	2,160	0	10,482	10,482	
		防護柵(ha)	0	23.21	23.21	0.99	31.96	32.95	4.22	33.76	37.98	
		事業費(千円)	0	28,268	28,268	1,504	27,642	29,146	6,375	52,904	59,279	
		防護ネット(セト)	0	0	0	0	1,950	1,950	0	0	0	
		事業費(千円)	0	0	0	0	3,725	3,725	0	0	0	
		ハキチューブ(本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		事業費(千円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		個体数調整(頭)		9			9			9		
		事業費(千円)		405			405			405		
調査費(千円)		108			108			108				
旧 津 具 村	幼 齡 林	新植地(ha)	0	0	0	0.51	0	0.51	0	0	0	
		2～5年生(ha)	13.35	0	13.35	13.35	0	13.35	12.03	0	12.03	
		6～10年生(ha)	18.46	0	18.46	18.31	0	18.31	19.36	0	19.36	
		計	31.81	0	31.81	32.17	0	32.17	31.39	0	31.39	
	被害 対策	忌避剤処理(ha)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		事業費(千円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		防護柵(ha)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		事業費(千円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		防護ネット(セト)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		事業費(千円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ハキチューブ(本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		事業費(千円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		個体数調整(頭)		3			3			3		
		事業費(千円)		135			135			135		
調査費(千円)		36			36			36				

5 地域別個体数調整計画

	捕獲団地名	面積 (ha)	捕獲数の上限 (頭)	捕獲予定頭数 (頭)	前年度捕獲実績 (頭)	備考
設 楽 町	木戸洞地区	34.04	4	12	3	
	大平地区	67.55	4		2	
	三ゲンヤ地区	49.07	4		3	
	日影地区	61.50	3		0	
	石ノ津地区	77.25	3		1	
	霧ヶ窪地区	77.19	2		0	
	中手向地区	139.52	2		2	
	簀ノ子地区	100.63	2		1	
旧 設 楽 町	木戸洞地区	34.04	4	9	3	
	大平地区	64.55	4		2	
	三ゲンヤ地区	49.07	4		3	
	日影地区	61.50	3		0	
	石ノ津地区	77.25	2		1	
旧 津 具 村	霧ヶ窪地区	77.19	2	3	0	
	中手向地区	139.52	2		2	
	簀ノ子地区	100.63	2		1	

6 個体数調整実施計画

(1) 捕獲実施体制

会長1名、副会長1名、理事・監事4名、会員114名の計118名で構成され、田口地区、名倉地区、段嶺地区、津具地区の4地区に分かれて組織されている設楽町猟友会に委託し実施する。

個体数調整の実施にあたっては、猟友会員の中から個体数調整従事者を選定し、数回に分けて予定数を捕獲する。

(2) モニタリング等

ア 食害及び生息状況の調査

捕獲実施団地の幼齢造林地内等にプロットを作成し、その中の食痕の有無の調査を行い、被害率を推定する。また、生息状況を把握するため、捕獲団地を踏査し、糞塊、足跡、食痕を記録する。

			令和3年度	令和4年度
設 楽 町	食 害 調 査	実施団地名	木戸洞、大平、三ゲンヤ、日影 石ノ津、霧ヶ窪、中手向 箕ノ子	木戸洞、大平、三ゲンヤ、日影 石ノ津、霧ヶ窪、中手向 箕ノ子
		箇所数	8箇所	8箇所
		総調査本数	1,266本	1,266本
	生 息 調 査	実施団地名	木戸洞、大平、三ゲンヤ、日影 石ノ津、霧ヶ窪、中手向 箕ノ子	木戸洞、大平、三ゲンヤ、日影 石ノ津、霧ヶ窪、中手向 箕ノ子
		箇所数	8箇所	8箇所
旧 設 楽 町	食 害 調 査	実施団地名	木戸洞、大平、三ゲンヤ、日影 石ノ津	木戸洞、大平、三ゲンヤ、日影 石ノ津
		箇所数	5箇所	5箇所
		総調査本数	793本	793本
	生 息 調 査	実施団地名	木戸洞、大平、三ゲンヤ、日影 石ノ津	木戸洞、大平、三ゲンヤ、日影 石ノ津
		箇所数	5箇所	5箇所
旧 津 具 村	食 害 調 査	実施団地名	霧ヶ窪、中手向、箕ノ子	霧ヶ窪、中手向、箕ノ子
		箇所数	3箇所	3箇所
		総調査本数	473本	473本
	生 息 調 査	実施団地名	霧ヶ窪、中手向、箕ノ子	霧ヶ窪、中手向、箕ノ子
		箇所数	3箇所	3箇所

イ 捕獲個体調査

カモシカ保護管理の具体的な施策を検討するため捕獲個体調査を実施する。
カモシカ捕獲の際、従事者が個体の外部計測を行った後、「個体計測記録用紙」へ必要事項を記入するとともに、頭部及び生殖器を収集し、ビニール袋に入れて町へ提出する。
町は採取試料を冷凍保存し、研究機関へ妊娠率、年齢構成、性比等の調査を依頼する。

ウ 毛皮等の処理

良質な皮についてのみを製品化することとし、加工する場合は「製品台帳」を作成し製品の管理を徹底する。

捕獲時の傷が大きい等の理由で加工しない場合は現場で埋設処分する。

なお、個体の肉塊については自家消費することを原則とする。

7 カモシカの保護管理及び被害対策のための森林の取扱い

野生動物を保護しつつ健全な森林を育てることは、自然環境を保全する上からきわめて大切なことであり、一方では林業の振興を図る上から、野生動物による食害などの被害をできるだけ抑えることが求められている。特に近年は、カモシカ・ニホンジカなどによる幼齢木食害や農作物への被害が深刻な問題になっており、人間と野生動物、または農林業と野生動物の共存が重要な課題となっている。

このため、計画においては、忌避剤処理及び個体数調整による防除方法によって森林被害を抑えるとともに、間伐や枝打ち等の適切な森林管理を実施しながら下層植物を増やすなどの林業的防除方法を取り入れて、野生動物の環境を保護するなど「共存」に努めることとする。

8 生活圏に出没するカモシカ

最近、生活圏に出没するカモシカが増えている。家庭菜園や花壇の花の食害が報告されている。

また、道路付近にも出没しているためカモシカと交通安全の確保に務めている。

(設楽町役場入口付近)



(国道257号線田峯付近)

